

## 令和6年度 恵プラザこども園 自己評価結果

保育内容・子育て支援・保育の質の向上についての自己評価を実施しました。職員20名分の評価となります。集計と、各項目ごとに考察と今後の対応についても記載しております。

自己評価の結果をご覧ください、その評価に対して保護者の皆様からのご意見や感想がありましたら、ご気楽にお知らせください。今後の参考にさせていただきたいと思います。

### ●保育内容

| ① こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。                                                                                                                               | ○  | × | 無回答 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。                                                                                                                                    | 17 | 0 | 3   |
| 全体的な計画は、こども園の理念、教育・保育の方針や目標に基づいて作成している。                                                                                                                                                    | 17 | 0 | 3   |
| 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。                                                                                                                                        | 20 | 0 | 0   |
| 全体的な計画は、教育・保育に関わる職員が参画して作成している。                                                                                                                                                            | 15 | 2 | 3   |
| 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。                                                                                                                                                             | 17 | 0 | 3   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>無回答があるということは、取り組んでいる内容が職員間にしっかりと共有できていない、理解できていないと考えられる。今後は、職員がしっかりと理解できるように仕組みをしっかりと整えたい。<br>また、全体計画作成は職員が参画して実施しているが、そのことについても理解ができていない点が問題ととらえ、説明をしっかりと行うなど工夫する。 |    |   |     |

| ②生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                            | ○  | × | 無回答 |
|----------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。                               | 15 | 4 | 1   |
| こども園内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。                                          | 17 | 2 | 1   |
| 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。                                                | 18 | 0 | 2   |
| 一人一人の子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。                                         | 15 | 3 | 2   |
| 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。                                           | 13 | 4 | 3   |
| 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。                       | 15 | 3 | 2   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>できていない答えた中に、季節によっては空調の調整や換気に関する内容があり、職員それぞれの捉 |    |   |     |

え方や感覚の違いもあることが分かった。マニュアルや手順表の周知をしっかりと行うことが必要である。今後としては、マニュアルの整備をしっかりと行い周知に努めるとともに、用具の衛生管理の方法を改善して定着するよう定期的に確認を実施していく。

また、くつろいだり、落ち着ける場所ができていないとの意見もありましたので、環境をどのようにしていくのかを次年度はしっかりと話し合っていく。

| ③一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                 | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------------|----|---|-----|
| 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人一人の子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 | 16 | 2 | 2   |
| 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。                | 15 | 3 | 2   |
| 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。                 | 16 | 2 | 2   |
| 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。                 | 15 | 3 | 2   |
| 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。                      | 14 | 3 | 3   |
| せかす言葉や制止する言葉を不必要に用いないようにしている。                     | 17 | 0 | 3   |

#### 考察と今後の対応について

自分に余裕がないときがあり、言葉が強くなってしまうといった意見や園児を待たせる時もあるとの反省があがっていた。子どもの受容や寄り添いについて研修等で学んだり共通理解を図るように努めてきたが、なかなか全職員の共通認識となっていない。今後は、研修の中でのロールプレイ等で実際にこんな場面ではどんな対応が良いのか？また、どんな声掛けがよいかを考えていきたい。

| ④子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。         | ○  | × | 無回答 |
|--------------------------------------------------|----|---|-----|
| 一人一人の子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 | 18 | 0 | 2   |
| 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 | 17 | 1 | 2   |
| 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人一人の子どもの主体性を尊重している。  | 18 | 0 | 2   |
| 一人一人の子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。        | 17 | 0 | 3   |
| 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。    | 15 | 3 | 2   |

#### 考察と今後の対応について

無回答は、給食の担当で園児の基本的な生活習慣の部分にたずさわっていないということで無回答でした。できていないと答えた部分については様々な場面を想定し、その時にどのような関わりや言葉掛けをすることが子どもにとって必要であるかを一緒に考えていきたい。

| ⑤子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                                                                                                                    | ○  | × | 無回答 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整え整備している。                                                                                                                                 | 19 | 0 | 1   |
| 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。                                                                                                                                            | 17 | 2 | 1   |
| 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。                                                                                                                                    | 18 | 1 | 1   |
| 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。                                                                                                                                                | 18 | 1 | 1   |
| 生活と遊びを通して、友達などと人間関係が育まれるよう援助している。                                                                                                                                 | 19 | 0 | 1   |
| 子どもたちが友達と協同して活動できるよう援助している。                                                                                                                                       | 18 | 0 | 2   |
| 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。                                                                                                                                        | 17 | 1 | 2   |
| 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。                                                                                                                                         | 18 | 1 | 1   |
| 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。                                                                                                                                   | 17 | 2 | 1   |
| 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。                                                                                                                                         | 18 | 0 | 2   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>無回答の職員は、給食の担当でした。実際に関わることはないので自己評価は無回答でも大丈夫ですが、園で取り組んでいる内容として周知することを実施する。<br>子どもの主体的な活動に対しての援助ができていないと評価している職員に対しては、主体的とはについて一緒に考える機会を設ける。 |    |   |     |

| ⑥乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                            | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。                                                                                                                                                 | 13 | 1 | 6   |
| 0歳児が、安心して、保育教諭等と愛着関係（情緒の安定）がもてるよう配慮している。                                                                                                                                              | 14 | 0 | 6   |
| 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。                                                                                                                                                             | 14 | 0 | 6   |
| 0歳児が、興味と関心をもつことができる生活と遊びへの配慮がされている。                                                                                                                                                   | 14 | 0 | 6   |
| 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。                                                                                                                                                             | 13 | 0 | 7   |
| 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。                                                                                                                                                          | 11 | 1 | 8   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>無回答は、0歳児担当以外の職員でした。できていると答えた職員は、現担当と0歳児担当の経験がある職員の回答となっている。対応や環境への配慮についてしっかりと取り組んでいると言える評価でした。今後もしっかりと取り組んでいくとともに、もっといろいろな環境や工夫も実施していけるように研修やミーティング等の実施を行っていく。 |    |   |     |

| ⑦3歳児未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。                                                               | ○  | × | 無回答 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 一人一人の子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。                                                                                            | 16 | 1 | 3   |
| 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。                                                                                                           | 12 | 4 | 4   |
| 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育教諭が関わっている。                                                                                          | 17 | 0 | 3   |
| 子どもの自我の育ちを受け止め、保育教諭等が適切な関わりをしている。                                                                                                  | 15 | 1 | 4   |
| 保育教諭等が、友達との関わりの中立ちをしている。                                                                                                           | 16 | 1 | 3   |
| 様々な年齢の子どもや、保育教諭以外の大人との関わりを図っている。                                                                                                   | 13 | 3 | 4   |
| 一人一人の子どもの状況に応じ、家庭と連携した取り組みや配慮がされている。                                                                                               | 14 | 2 | 4   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>環境を通した教育・保育ということで、環境の準備についてはミーティング等を実施したり、研修等で検討して工夫するなどの実施を行ってきた。その中で、不十分と感じている職員がいることをふまえて今後もしっかりと研修していく。 |    |   |     |

| ⑧3歳以上児の教育・保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。                                                                                       | ○  | × | 無回答 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 3歳児の教育・保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。                                                                            | 10 | 1 | 9   |
| 4歳児の教育・保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友達とともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え保育教諭等が適切に関わっている。                                                                        | 10 | 1 | 9   |
| 5歳児の教育・保育に関して、集団の中で一人一人の子どもの個性が活かされ、友達と協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。                                                        | 9  | 1 | 10  |
| 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がなされている。                                                                                            | 9  | 1 | 10  |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>無回答は担当以外の職員でした。担当職員では、自己評価において実施できていることがほとんどでしたが、できていないと感じている職員もいるので、今後も更に展開していけるよう研修やミーティング等での情報の共有や今後の取り組みについての検討をしっかりとしていく。 |    |   |     |

| ⑨障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、教育・育の内容や方法に配慮している。   | ○  | × | 無回答 |
|------------------------------------------------|----|---|-----|
| 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。                     | 6  | 4 | 10  |
| 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連付けている。 | 8  | 4 | 8   |
| 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。                  | 14 | 0 | 6   |

|                                                                                                                                                                                                                     |    |   |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|
| 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。                                                                                                                                                                                       | 13 | 0 | 7 |
| 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。                                                                                                                                                                                        | 10 | 3 | 7 |
| 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。                                                                                                                                                                                      | 12 | 1 | 7 |
| 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。                                                                                                                                                                             | 11 | 1 | 8 |
| こども園の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。                                                                                                                                                                      | 9  | 2 | 9 |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>令和6年度は障害のある子どもがいなかったので無回答が多かった。回答している職員は、支援が必要だと感じる園児を対象にして回答を実施している。自園では、気になる子に対しての配慮等を計画に反映して取り組んでいるが、個別の指導計画は以上児の方は簡易的なものである。<br>しかし、園のコーディネーターと共に園児に対する配慮事項を検討するなどの機会を設けているので継続して実施していく。 |    |   |   |

| ⑩それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。                                                                                   | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 一日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子どもの主体の計画性をもった取組となっている。                                                                                    | 17 | 0 | 3   |
| 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。                                                                                                     | 11 | 4 | 5   |
| 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。                                                                                                   | 14 | 3 | 3   |
| 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。                                                                                                      | 19 | 0 | 1   |
| 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。                                                                                            | 19 | 0 | 1   |
| 子どもの状況について、保育教諭間の引継ぎを適切に行っている。                                                                                                  | 18 | 1 | 1   |
| 担当の保育教諭と保護者との連携が十分に取れるように配慮している。                                                                                                | 18 | 0 | 2   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>給食の短時間の職員、また短時間の保育教諭が無回答となっている。できていないとなっている部分は、家庭的な環境づくりとおだやかな空間となっている。室内環境やゆったりとした空間づくりについては今後検討し、整備する。 |    |   |     |

| ⑪小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、教育・保育の内容や方法、保護者との関りに配慮している。 | ○ | × | 無回答 |
|----------------------------------------------------|---|---|-----|
| 計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいて教育・保育が行われている。    | 9 | 1 | 10  |
| 子どもが、小学校以降の生活について見通しをもてる機会が設けられている。                | 8 | 0 | 12  |
| 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しをもてる機会が設けられている。            | 7 | 2 | 11  |
| 保育教諭等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学               | 7 | 1 | 12  |

|                                                                                                                                                                                                                                    |   |   |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----|
| 校との連携を図っている。                                                                                                                                                                                                                       |   |   |    |
| 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、認定こども園園児指導要録を作成している。                                                                                                                                                                                          | 7 | 0 | 13 |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>就学前のクラスの担当をもっていない職員、短時間の職員、給食担当の職員は無回答となっている。実際に年長クラスの担当をもっている職員と、取り組みを理解している職員も回答している。積極的な取り組みを実施しているとの自己評価である。<br>今後の取り組みとしては、小学校との情報交換の会議等がある事なども周知していけるよう取り組むと共に、子どもの見通しについてもどのような機会や取り組みが必要であるかを考えていく。 |   |   |    |

| ⑫子どもの健康管理を適切に行っている。                                                                                                                                                                                                  | ○  | × | 無回答 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人一人の子どもの心身の健康状態を把握している。                                                                                                                                                                  | 15 | 2 | 3   |
| 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えとともに、事後の確認をしている。                                                                                                                                                                            | 18 | 0 | 2   |
| 子どもの保健に関する計画を作成している。                                                                                                                                                                                                 | 12 | 0 | 8   |
| 一人一人の子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。                                                                                                                                                                                 | 16 | 0 | 4   |
| 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。                                                                                                                                                                   | 14 | 2 | 4   |
| 保護者に対して、こども園の健康に関する方針や取組を伝えている。                                                                                                                                                                                      | 14 | 2 | 4   |
| 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。                                                                                                                                                                            | 16 | 2 | 2   |
| 保護粗野に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。                                                                                                                                                                             | 10 | 2 | 8   |
| マニュアルについての研修を行っており、関係職員に周知活動が行われている。                                                                                                                                                                                 | 15 | 1 | 4   |
| マニュアルは定期的に見直しが行われている。                                                                                                                                                                                                | 15 | 1 | 4   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>給食の担当職員が無回答でした。<br>実際に取り組んでいる事が周知されておらず、できていないとの評価になっていることは、今後の改善点といえる。<br>まずは、園で取り組んでいる事の共通理解を実施し、保護者に向けて園が発信している内容についてもしっかりと職員にも伝える体制づくりを実施する。<br>マニュアルの定期的な見直しが今年度実施できていないので、担当と検討し実施していく。 |    |   |     |

| ⑬健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                  | ○  | × | 無回答 |
|-------------------------------------------|----|---|-----|
| 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。           | 16 | 0 | 4   |
| 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、教育・保育が行われている。 | 12 | 2 | 6   |

|                                                                                                                                                                                                    |    |   |   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|
| 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。                                                                                                                                                  | 16 | 0 | 4 |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>園で毎年実施している健康診断、歯科健診の後の流れを理解していない職員がいた。また、健診の結果を踏まえて次年度の保健計画等に反映している流れも把握できていなかったのも、園での取り組みについての理解と把握が今後の課題である。いろんな役割分担で動いている職員一同にどのように情報を共有し、理解できているかの確認までを実施していくのかを検討していく。 |    |   |   |

| ⑭アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。                                                                                                                                                                                                                                 | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| アレルギー疾患のある子どもに対して、「認定こども園におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。                                                                                                                                                                                                          | 17 | 0 | 3   |
| 慢性疾患のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。                                                                                                                                                                                                                                  | 17 | 0 | 3   |
| 保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                   | 16 | 0 | 4   |
| 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                  | 17 | 0 | 3   |
| 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。                                                                                                                                                                                                                              | 13 | 4 | 3   |
| 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                   | 6  | 9 | 5   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>アレルギーの園児がいないクラスが多いので無回答が多かったと思われる。アレルギー疾患についての研修や、周知の機会は多くもっている。また、アレルギー疾患、慢性疾患についての理解を図るための取組について、より詳しい内容でのミーティングや会議、研修の実施を継続し、今後アレルギー疾患や慢性疾患の園児が在園した際にも対応できるように取り組んでいく。<br>アレルギー疾患や慢性疾患の園児に対応する技術の習得や、保護者への発信ができていないとの評価も多かったのもので、正確な対応についての研修を計画していく。 |    |   |     |

| ⑮食事を楽しむことができるよう工夫している。                | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------|----|---|-----|
| 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。  | 18 | 0 | 2   |
| 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 | 18 | 1 | 1   |
| 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。            | 19 | 0 | 1   |
| 食器の材質や形などに配慮している。                     | 17 | 1 | 2   |
| 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。          | 18 | 1 | 1   |
| 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。      | 19 | 0 | 1   |
| 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。          | 18 | 0 | 2   |
| 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。       | 17 | 1 | 2   |

**考察と今後の対応について**

食に関することでは、食育として園全体で取り組んできているので、できていると評価する職員が多数でした。まだ、全職員での意識が統一されていない点を考え、次年度より全職員での周知の実施を行うこと、また、現状よりよりよくするための検討会を実施していく。

| ⑯子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。            | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------|----|---|-----|
| 一人一人の子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。       | 11 | 1 | 8   |
| 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。                     | 11 | 2 | 7   |
| 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。            | 8  | 1 | 11  |
| 季節感のある献立となるよう配慮している。                        | 10 | 0 | 10  |
| 地域の食文化や行事食などを取り入れている。                       | 10 | 0 | 10  |
| 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 | 9  | 1 | 10  |
| 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている        | 10 | 0 | 10  |
| マニュアルは定期的に点検が行われ、必要に応じて見直し行っている。            | 10 | 0 | 10  |
| 過去1年間に衛生管理で問題が発生していない。                      | 10 | 0 | 10  |

**考察と今後の対応について**

献立や調理に関する評価のため、給食担当の職員の評価が主となっている。  
実際に献立したり調理したりしていないため評価できない部分はあるが、どのような取り組みをしているかの把握は今後心掛けていけるように、情報の共有は実施していく。

**●子育て支援**

| ⑰子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。       | ○  | × | 無回答 |
|--------------------------------------|----|---|-----|
| 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。           | 16 | 0 | 4   |
| 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。    | 17 | 0 | 3   |
| 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援している。 | 17 | 0 | 3   |
| 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。     | 16 | 0 | 4   |

**考察と今後の対応について**

給食の職員は、日頃保護者とのやり取りがないため無回答となっている。  
職員の意識としては、しっかりと保護者とのやり取りをしているという意識ではあるが、現状よりも更により方向に改善できるよう工夫すること続ける。



| ②保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                                                                                                                                                 | ○  | × | 無回答 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組んでいる。                                                                                                                                       | 16 | 0 | 4   |
| 保護者等からの相談に応じる体制がある。                                                                                                                                                         | 16 | 0 | 4   |
| 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。                                                                                                                                      | 14 | 0 | 6   |
| こども園の特性を生かした保護者への支援を行っている。                                                                                                                                                  | 14 | 2 | 4   |
| 相談内容を適切に記録している。                                                                                                                                                             | 13 | 3 | 4   |
| 相談を受けた保育教諭等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。                                                                                                                                    | 14 | 2 | 4   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>給食担当の職員が無回答となっている。(対応することがほとんどないため)<br>相談内容を記録していないと反省している職員や、自分が適切に対応できていないと回答する職員がいたの<br>で、今後は保護者との信頼関係を築いていけるような研修を取り入れて、職員の意識が高まるように取り組<br>んでいく。 |    |   |     |

| ③家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の<br>予防に努めている。                                                                                                            | ○  | × | 無回答 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育<br>の状況について把握に努めている。                                                                                                     | 15 | 1 | 4   |
| 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかにこども園内で情<br>報を共有し、対応を協議する体制がある。                                                                                                     | 15 | 1 | 4   |
| 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の<br>援助をしている。                                                                                                             | 11 | 3 | 6   |
| 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐<br>待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。                                                                                          | 13 | 2 | 5   |
| 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。                                                                                                                               | 12 | 3 | 5   |
| 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。                                                                                                                          | 14 | 2 | 4   |
| マニュアルにもとづく職員研修を実施している。                                                                                                                                       | 11 | 3 | 6   |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>虐待権利侵害についての研修やマニュアルの周知を実施したが、できているとの回答につながっていなかつ<br>た。職員の意識が思っているよりも低いのではないかと感じる。<br>今後は園での対応の流れ、取り組み気掛けることについての周知に努める。その為の時間確保を実施する。 |    |   |     |

## ●保育の質の向上

| ①保育教諭等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改<br>善や専門性の向上に努めている。 | ○  | × | 無回答 |
|---------------------------------------------------------|----|---|-----|
| 保育教諭等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り                | 17 | 0 | 3   |

|                                                                                                                                        |    |   |   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|
| 返り（自己評価）を行っている。                                                                                                                        |    |   |   |
| 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。                                                                                 | 16 | 0 | 4 |
| 保育教諭等の自己評価を、定期的に行っている。                                                                                                                 | 17 | 0 | 3 |
| 保育教諭等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。                                                                                                     | 15 | 1 | 4 |
| 保育教諭等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。                                                                                                  | 16 | 0 | 4 |
| 保育教諭等の自己評価を、こども園全体の保育実践の自己評価につなげている。                                                                                                   | 16 | 0 | 4 |
| <b>考察と今後の対応について</b><br>自己評価は実施しているが、学び合いや意識の向上につながっていないと感じる職員や無回答の職員の数字が多かった。評価で終わるのではなく、そこからの必要な研修や学び、周知すべき事項をまとめて職員間で実施することが必要だと感じた。 |    |   |   |

## 園長・事務長・主幹保育教諭による園全体の評価結果

| 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ○ | × | 無回答 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----|
| 学校環境衛生基準に基づき認定こども園の適切な環境の維持、施設内外の設備、用具等の衛生管理に努め、園児及び全職員が清潔を保っている。                                                                                                                                                                                                                                                                | 2 | 2 | 0   |
| 事故防止の取組を行う際には、特に、睡眠中、プール活動・水遊び中、食事中等の場面では重大事故が発生しやすいことを踏まえ、園児の主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど必要な対策を講じている。                                                                                                                                                                                                                    | 4 | 0 | 0   |
| 事故の発生に備えるとともに施設内外の危険個所の点検や訓練を実施し、また、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など不測の事態に備えている。                                                                                                                                                                                                                                                        | 3 | 1 | 0   |
| 災害時の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全性が確保されるよう、定期的にこれらの安全点検を実施している。                                                                                                                                                                                                                                                                       | 4 | 0 | 0   |
| 認定こども園として、地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的役割を果たすよう努めることを知っている。                                                                                                                                                                                                                            | 2 | 2 | 0   |
| 園全体として行事の内容及び運営は目標に沿って行われたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4 | 0 | 0   |
| 職員の研修内容とその成果が現場に反映されたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 2 | 2 | 0   |
| 教育・保育内容の公表に努力をしたか。また、その方法は適切だったか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1 | 3 | 0   |
| 小学校や地域の関係機関との連携に向けて必要な努力をすることができたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 2 | 2 | 0   |
| 情報を必要とする人に十分な情報の提供ができていたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 3 | 1 | 0   |
| 園全体として今年度の教育・保育の目標やねらいは達成されたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1 | 3 | 0   |
| <b>結果と今後の取組について</b><br>衛生管理の部分で大分改善ができてきているが、まだまだ十分でないので更なる改善が必要だと感じる。不審者の侵入防止が不十分ではあるが、なかなか適切な防止策がなく、訓練中心になっているのももう少し工夫できないかとのことでできていない評価になっているので、再度検討する。<br>職員研修では、主体的な教育・保育についてや、環境に準備の部分が十分職員に反映されていないことを感じている。実践的な研修を今後実施する。<br>教育・保育の内容を公表したり、必要な情報を提供するといった部分では、もっと改善が必要である。保護者に理解していただく機会を多く計画していくことと、もっと発信力を高める工夫を検討する。 |   |   |     |